

令和6年度「山形学」第2回講座 実施報告書

◆日時:11月2日(土)9:40~15:35

◆会場:現地学習

◆テーマ:大テーマ「おもしろ農楽」

第2回テーマ「おいしい山形のルーツを探り、未来へつなぐ～味わう～」

◆内容:

講師 横尾 友栄氏(壽屋寿香蔵 代表取締役)

訪問先 壽屋寿香蔵

ファーマーズマーケット よってけポポラ

六歌仙

コーディネーター 結城 こずえ氏(「山形学」実行委員)

実行委員 佐藤 純氏、中川 恵氏

◆プログラム:

9:20 遊学館 集合

9:40 遊学館 出発

10:30 壽屋 寿香蔵 到着

講話 横尾 友栄 氏(50分)

11:30 昼食・休憩

12:40 壽屋 出発

★1班(1号車)

12:50 六歌仙 到着

13:40 六歌仙 出発

13:55 よってけポポラ 到着

14:35 よってけポポラ 出発

15:35 遊学館 到着

★2班(2号車)

12:45 よってけポポラ 到着

13:30 よってけポポラ 出発

13:45 六歌仙 到着

14:35 六歌仙 出発

15:35 遊学館 到着

◆参加者数:39名

◆当日の様子

(1) 壽屋寿香蔵

横尾友栄氏の漬物講座を聞きながら、試食しました。試食には梅、おみ漬け、菊と蕨の漬物、リンゴ酢をご提供いただきました。講話内容は、壽屋の取り組み全般、添加物を使わないことの意義、そして壽屋創業者である会長の横尾昭男氏も交えながら、創業の経緯などもお話いただきました。質疑応答も活発で充実した内容となりました。昼食後もテーブルに残り、参加者同士がじっくりと会話する姿も多くみられました。また、店内を見学しながらショッピングを楽しみました。

(2) ファーマーズマーケット よってけポポラ

店長様より、バックヤードにて説明いただきました。よってけポポラの規模や品ぞろえだけでなく、生産者がどのようにポポラと関わり農産物を売っているか、売り場に出した農作物の管理などについて新しく知ることができました。ちょうどご高齢の生産者がバーコードを登録・印刷する機械で作業しているところを見学でき、生産者のご様子を知る貴重な機会となりました。

(3) 六歌仙

社長様より六歌仙の創業の由来、酒造りの現状などをお聞きし、その後、酒造りの工程を解説する動画を視聴し、余り見聞きすることのない酒造り行程について学ぶことが出来ました。試飲の時間では、多くの受講生が感想を言いながら日本酒を飲み比べされていました。また、日本酒ガチャガチャも大変好評で、1等賞を引き当てた参加者もいました。

(4) 結城委員による解説

1号車は往路、2号車は復路で、コーディネーターである結城委員から現地学習の狙いなどを講話いただきました。資料として配布された郷土料理のレシピなどを確認しながら、結城委員がどのように果樹に取り組んでいるのか、山形に戻ってきた理由なども交えて、山形の独自の食文化についての知見などお話いただきました。受講生の感想やご意見などもお聞きし、貴重な交流の時間となりました。

参加者の声

- ・添加物が入っていないお漬物がこんなにもおいしいのかと感動しました。昔から伝わる食文化を続けるためのヒントをいただいたような気がします。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・日頃気づかない視点から学ぶことができました。5年後10年後の山形の農業のために何ができるか、何をすべきか参考になりました。
- ・山形が誇る食文化である漬物、日本酒の勉強ができたばかりではなく、試食・試飲ができたので大変良かった。ポポラで買い物できたのも良かった。
- ・現地でしか学べないこと、知ることができないことを五感すべてを使って考えることができた。
- ・壽屋さんは一度行ってみたかった所。うれしかった。この度のグループの皆さんと意見や会話をかわしながら楽しいひと時でした。
- ・ポポラでは新しい品種に取り組んでいるものがあり、頑張っている姿を見られたのがよかった。
- ・帰りのバスでは意見交換で今回の学びを実感することができました。本当に参加して良かったです。
- ・「みんなみんなでひとつの輪」from「もやしもん」13巻。生産者・消費者・自然・生物すべてが1つのものであり、互いに深く関係合っている。お互いにもっともっと知り、よりよくするにはどうすればよいか考える必要がある。今回の実習はこの「考える」ところに深く貢献していると思うので、今後もぜひこのような実地講習を行ってほしい。

○当日の様子



< 壽屋 > 横尾氏講話



< 六歌仙 > 松岡氏講話



< よってけポポラ > 後藤氏



結城委員講話